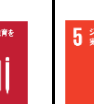


※記載例を参照の上、ご記入ください。

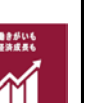
(様式第3号)

企業・団体名(株式会社フジテック)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生等、あらゆる雇用条件で差別のない体制を経営者が積極的に関与している ・トップマネジメントによる年2回の面談実施している ・相談窓口【会社のことを想う箱】を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・相談窓口【会社のことを想う箱】を設置している ・ハラスメント防止宣言をし、ポスターの掲示をしている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・スーパーフレックス制度導入し働き方に柔軟対応、業務の効率化を推進している ・リモートワーク制度導入しワークライフバランスを促す ・毎週水曜日ノー残業デー実施している ・残業時間を把握管理し、注意喚起している ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得している								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生等、あらゆる雇用条件で差別のない体制を経営者が積極的に関与している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人 権 ・ 労 働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・各個人にヘルメット・安全ベストを貸与し、現場作業での着用や複数人作業を義務付けしている ・使用する道具に不備がないかチェックを行い、適時に修理、交換をしている ・AED設置			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・レジリエンス教育、ストレスセルフチェックを促し、精神的安定と意欲向上を図る			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・女性、高齢者の活躍状況をHPや会社説明会で発信している ・60歳以降の再雇用制度を設けている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・社外研修会費用を会社が負担し、その水平展開のために社内研修会を年9回実施している ・新入社員研修・資格取得を奨励し取得者へは報奨金や手当を支給している ・外部講師による資格支援を実施している				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パートタイム労働法、労働契約法の改正内容を理解し、同一労働、同一賃金等の原則に沿った体制を整備し対応している ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・定期健康診断を実施し、受診率100%とする ・50歳以上を対象に人間ドック補助金制度がある ・感染症予防で、手指消毒用アルコールを配備している ・毎朝、ラジオ体操を実施している ・健康づくりチャレンジ宣言を行っている ・AED設置			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・資源ゴミと廃棄ゴミを分別し、ゴミの減量化に取り組んでいる											11.6 12.4		14.1				
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・エネルギーの節約に向け定期的に電気の使用量と電気代を集計し揭示し、節電取り組む							7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・森林保全のためペーパーレスに取り組んでいる ・高効率エアコンの導入や全照明のLED化を実施した ・エコカー・ハイブリッド車の導入に取り組んでいる							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・鋼橋の塗膜含有試験を実施し、有害物質の飛散防止と適正な廃棄物処理を設計に組み入れている			3.9			6.3					11.6 12.4						

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・道路設計、河川砂防設計において環境に配慮した材料や製品を優先的に採用している						6.6									15		
16	【３Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・裏紙を積極的に利用している ・社有車は全て中古車を使用している ・コピー用紙は再生紙を使用している												12.5		14.1			
17	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・節水に向け敷地内井戸水を使用器具・社有車の洗浄に利用する						6.4 6.6											
18	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			・環境を意識した事業運営を展開しているが、認証取得は検討中である			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・設計計画・施工計画における環境や生態系への悪影響の防止を報告書に明記する ・絶滅危惧種のチョウ「オオルリシジミ」の生物多様性保全パートナーシップの協定を締結し保存活動に協働している												12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】		・再生可能エネルギーを会社のエネルギー源に取り込む							7.2						13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】		・天然資源を調達する業務がない												12.2	13	14	15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・経営者が汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図る																16 16.5	
23	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・経営者が不正競争行為を禁止する行動規範を整備し、社内に浸透を図る																16	
24	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・借用書類の写しは業務完了時に破棄している ・書籍の丸ごと複写を禁止し知的財産を保護している								8.2 8.3	9								
25	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本			・特定個人情報取扱規程を整備し管理し、個人情報が含まれる資料はすべて適正に廃棄している																16	
26	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		・紛争鉱物は現在取り扱っていない今後も取り扱わない																16	
27	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・取引先・協力会社と打合せ及び外注共通仕様書を通して法令順守と倫理責任の共有に努めている ・施工計画の際には、生態系への悪影響の防止に取り組んでいる					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表する			3					8	9	10							17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・業務遂行にあたり、法令や規定を一番に遵守し、安全性を確保している ・定期的に講習会を開き、知識を深めている ・全社員が検索・アクセスできるデータ蓄積・検索ツールを導入し、情報共有により業務の効率化を図る			3.9									12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・月1回各部門の代表者(課長級以上)が集まり、定期的に業務の照査を行い、業務の改善に努めている ・月1回照査の日を設け設計検証・成果チェックの時間を確保している ・新技術(BIM/CIM、ドローン)を活用し事業の早期合意形成や作業の効率化を図る									9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・ライフサイクルに配慮した計画と設計を提案している ・現場発生土・コンクリートガラ・建設副産物のリサイクル計画書を作成や、再生材の使用等、環境負荷低減を考慮した計画・設計を提案する						6					12	13	14	15				
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・防災・交通渋滞・公共施設の長寿命化を目的とした業務において最も適した対策方法を提案している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・災害発生時には早期復旧を目指し積極的に取組む ・会社敷地内の花壇に花を植える				4					9		11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・次世代土木技術者の教育支援(工業高校教師・ドローン寄贈)に取り組んでいる ・道路点検ボランティア活動を定期的に実施している ・社屋周辺のごみ拾いに取り組む ・絶滅危惧種のチョウ「オオルリシジミ」の生物多様性保全パートナーシップの協定を締結し保存活動に協働している ・通行人に見えるよう、AED設置				4						11			14	15		17		
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			・全社員で千曲市の棚田貸します制度に参加し、社員の農業体験や環境保全教育等に積極的に利用している								8	9		11	12	13					
	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・毎年事業検討委員会で事業目標を決定している ・年度初めに経営理念の再確認と事業目標を社内に周知している								8	9								17
【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している		基本			・7つの行動指針で法令順守・倫理観を持って職務を遂行することを明記している																16		
【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している		基本			・SDGs実行委員がリーダーとなり、SDGs取組の進捗・効果を検証する ・交通安全管理者を設置し交通事故ゼロ活動をしている																16		
【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）		基本			・業務評定から発注者の要求事項を再確認し改善を行っている																16	17	
【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している		チャレンジ			・社内でもエラー勉強会を実施して、リスクの抽出と対策を行っている																16		
【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		チャレンジ			・公平な立場でインフラ整備・災害対応等 社会の安全と発展に取り組んでいる																16		
【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している		チャレンジ			・災害等緊急事態を想定した避難訓練を定期的に実施している ・BCPを立案し、災害時の安否確認システム導入やサーバー分散による業務停止の回避等、緊急時に備える									9		11		13 13.1			16		
【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			・社内人材の有効活用をしている ・各種資格取得支援をしている								8	9								17		

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定